

二〇一五年 四月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

一番あてにならぬのはわが心です

武宮礼一

「あの人はいい人だ」、「あの人はちよつと・・・」、人間関係を例にしても私たちは、自分の都合や好き嫌いで判断を下していることが多々あるように思います。自分の考えや価値観を大切にすることは間違いではありませんが、あまりにもその思いが強すぎると自分の視野を狭めてしまうこともあるように感じます。

雨が降れば、時として不満に感じるかも知れません。しかし、雨が降らなければ作物は育ちません。小さな生物にとっては恵みの雨かも知れません。立場が違ふと受け取り方ががらりと変わるように、自分の心の基準だけでは物事は正しく見えてきませんね。

自分中心に物事を見ている心。その心を一度見つめ直すようにと教えられる言葉ですね。

今月の聖語

その行いが親切であれ

『ダンマパダ』

『ダンマパダ』とは、釈尊の教えを集めたもので、人間そのものへの深い反省や生活の指針を短い句によって示したものです。

仏教には他者に対し、慈しみの心を持って接する「慈悲」という言葉があります。釈尊が「行いが親切であれ」と述べるように、私たちは他者に対してどのように接することができるでしょうか。「無財の七施(しちせ)」というところに触れてみたいと思います。

- 一 「眼施(げんせ)」・・・ 温かく優しい眼差しで接すること。
- 二 「和顔施(わげんせ)」・・・ 柔和な顔で接すること。
- 三 「言辞施(ごんじせ)」・・・ 優しい言葉で接すること。
- 四 「身施(しんせ)」・・・ 自分の体で出来ることを奉仕すること。
- 五 「心施(しんせ)」・・・ 思いやりの心を持って接すること。
- 六 「床座施(しょうざせ)」・・・ 席を譲ること。
- 七 「房舎施(ぼうしゃせ)」・・・ 場所をあたえ、あたたかく迎えること。

「これらは、財がなくても心さえあれば実践することが出来る事柄です。互いに敬い合い、助け合いながら日々の生活を送っていききたいものですね。

合掌

宗教教育係